

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 寄付金を活用した子どもの遊び場整備について	(1) 昨年の定例会において、海岸広場での水遊び設備検討やマッシュホールディングス様との協議について答弁がありました。今年のように長雨でプールを含めた水に親しむ機会が減る等の課題も踏まえ、この1年間の行政内での検討状況と同社との協議の進捗を伺います。
	(2) マッシュパーク女川について、特に夏場は日差しを遮る場所がなく、利用しづらいとの声は依然として根強いです。
	現在設置されている日よけは子どもを見守る上でも使いづらいため、雨天時の急な避難場所の機能も含め、子どもが安全快適に遊び、保護者が安心して見守れる環境整備の進捗状況を伺います。
	(3) 町の未来を担う子どもたちのための寄付金の活用方針について、子どもたちが年間を通じて安心して遊べるようなマッシュパーク周辺の環境整備や屋内遊戯施設などの有効な使い道があると考えますが、今後の具体的な展開について、町長の見解を伺います。
	(質問の相手：町長、担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 スポーツ施設の環境整備と合宿誘致の推進について	今年はＪリーグ秋春移行に伴う、ベガルタ仙台の石巻・女川キャンプが実現した一方、地元報道でも先進地のような歓迎ムードやファン以外への周知不足の課題が指摘されています。 女川スタジアムの機能強化や総合運動公園の老朽化も含め、３月答弁にあった計画見直しも踏まえたうえで、以下の３点について、見解を伺います。 （１）ベガルタ仙台のキャンプの成果を今後に活かすためにも、受入体制の総括が必要です。 教育委員会にとどまらず、広報発信・産業振興・保育所等との連携も踏まえて、行政も一体となった受入体制について伺います。 （２）キャンプや合宿誘致に限らず日常の利用においても施設環境の充実は重要です。女川スタジアムではピッチ脇における水道未設置、第２多目的運動場を含めた照明のＬＥＤ化、野球場ではシャッターの破損・音響の旧式化といった課題が散見されます。プロチームや合宿の受入れも見据え、改修や改善を迅速に進めることについて、見解を伺います。 （３）総合計画第４章における「施設の有効活用」

質 問 者 隅 田 翔

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	から、先進地のような「外貨を稼ぐ産業・観光
	戦略」へと格上げが必要です。他自治体に見ら
	れるスポーツ部門を首長部局へ移管するなども
	含めて、教育委員会の枠を超え、商工・観光と
	連携した全庁横断の受入体制を整え、スポーツ
	をまちづくりの柱として強力に推し進める考え
	について、町長の見解を伺います。
	(質問の相手：町長、教育長、担当課長)